

# 平成 29 年度 公営 稲城・府中メモリアルパーク 墓地 使用者 の 抽 選 方 法

稲城・府中墓苑組合

## □ 一連番号方式による抽選

### 【特色】

- ◆ 抽選番号の各桁の数字を抽選器で選び、各桁の数字の優先順位を決め、その順位に従いパソコンのシステムにより数字の組合せをし、当選番号（及び補欠番号）を決定します。
- ◆ 抽選器による数字の抽選は、同じ墓地形態の組の中で最大の受付番号を基準として墓地形態ごとに行い、抽選結果は同じ墓地形態の全ての組で共通となります。

## □ 抽選方法の手順

樹林式墓地の各申込区分の最大の受付番号が、以下のとおりと仮定した場合

### 【概要】

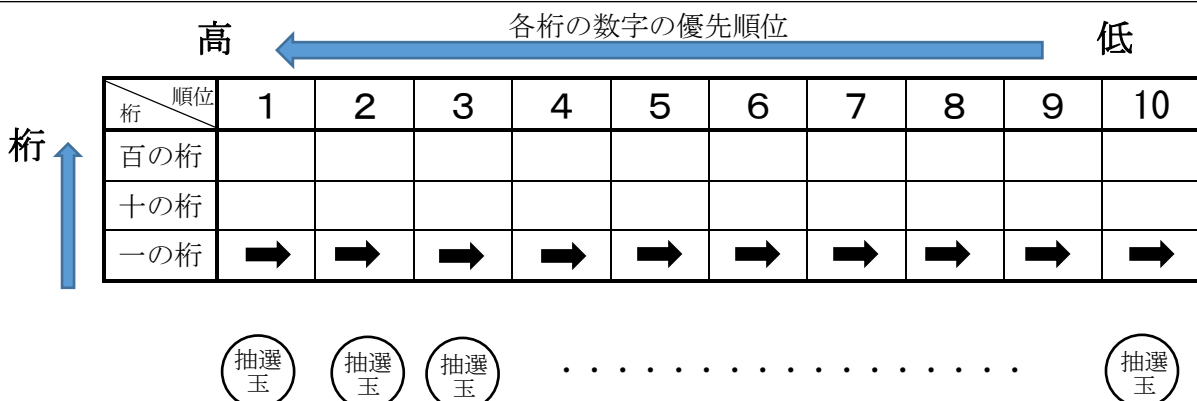
- ・ 0 から 9 までの番号が付された 10 個の抽選玉を抽選器にかけ、出てきた順に桁ごとの数字の優先順位が決定され、これを記録表に記載します。
- ・ 例の場合、D組の受付番号が 580 で最大となるため、一の桁から百の桁までの数字の優先順位を決定することとなります。
- ・ 最大受付番号が 500 番台なので、百の桁は、「0」「1」「2」「3」「4」「5」の 6 個の抽選玉を抽選器に入れます。
- ・ 決定された数字の優先順位に従い、各桁の数字をパソコンのシステムに入力することにより、当選番号（及び補欠番号）が自動的に計算されます。

<b>【例】</b>	<b>A組</b>	<b>最大受付番号</b>	<b>1 5 7</b>
	<b>B組</b>	<b>最大受付番号</b>	<b>0 4 5</b>
	<b>C組</b>	<b>最大受付番号</b>	<b>2 3 7</b>
	<b>D組</b>	<b>最大受付番号</b>	<b>5 8 0</b>
	<b>E組</b>	<b>最大受付番号</b>	<b>2 2 5</b>

樹林式墓地の各組における  
最大受付番号



抽選器から出される抽選玉の数字の記録表のイメージ図



**【手順①】：「一の桁」の数字の優先順位を決定します。**

10個の抽選玉を全て抽選器に入れ、抽選器を回して抽選玉を一個ずつ出します。出てきた順番に「一の桁」の優先順位を決定します。

「一の桁」の抽選→10個の抽選玉を入れた抽選器から「3」「2」「9」…の順に抽選玉が出た。

＜一の桁の抽選結果＞…（例）

桁 \ 順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
一の桁	3	2	9	7	0	1	4	5	8	6

**【手順②】：「十の桁」の数字の優先順位を決定します。**

手順①と同様に「十の桁」の優先順位を決定します。

「十の桁」の抽選→10個の抽選玉を入れた抽選器から「7」「6」「4」…の順に抽選玉が出た。

＜十の桁の抽選結果＞…（例）

桁 \ 順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
十の桁	7	6	4	9	2	0	5	1	8	3
一の桁	3	2	9	7	0	1	4	5	8	6

…手順①済み

**【手順③】：「百の桁」の数字の優先順位を決定します。**

最大受付番号が500番台なので、「0」「1」「2」「3」「4」「5」の6個の抽選玉を抽選器に入れ、後は手順①と同様に優先順位を決定します。

「百の桁」の抽選→「0」「1」「2」「3」「4」「5」の6個の抽選玉を入れた抽選器から「1」「0」「5」「3」「4」「2」の順に抽選玉が出た。

＜百の桁の抽選結果＞…（例）

桁 \ 順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
百の桁	1	0	5	3	4	2				
十の桁	7	6	4	9	2	0	5	1	8	3
一の桁	3	2	9	7	0	1	4	5	8	6

…手順②済み

…手順①済み

- ・手順③までで、樹林式墓地の各桁の数字の優先順位が決定されました。
- ・この各桁の数字の優先順位は、樹林式墓地の全ての組で共通となります。
- ・手順④では、樹林式墓地のA組を例に、当選番号（及び補欠番号）の順位を決定してみます。補欠数は募集数と同数とし、最終当選順位の次の抽選順位から割り当てます。

**【手順④】：当選番号（及び補欠番号）の順位を決定します。**

**(例) 樹林式墓地 A組 募集数：10（補欠数10） 最大受付番号：157**

この組の受付番号は、百の桁が「0」か「1」までの番号であるため、この組における組合せでは、百の桁の「2」以上の数字は除外されます。

桁 \ 順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
百の桁	1	0	<del>5</del>	<del>3</del>	<del>4</del>	<del>2</del>					…手順③済み
十の桁	7	6	4	9	2	0	5	1	8	3	…手順②済み
一の桁	3	2	9	7	0	1	4	5	8	6	…手順①済み

手順①から④の結果により決定された各桁の数字について、下位の桁を優先とし、すべての桁の組合せと桁各桁の数字を優先順位に従いずらして組合せる方法で、パソコンのシステムが自動的に順に数字を組合せて当選番号（及び補欠番号）の順位を決定します。

各桁の数字の優先順位1位となる一の桁「3」、十の桁「7」、百の桁「1」の者（受付番号173）が、抽選順位1位となりますが、受付番号の最大が「157」であるため、当選番号は「該当者なし」となり、「3」「7」の上位の桁である百の桁をスライドさせ、「073」が抽選順位2位、当選順位1位となります。

具体的には、下表のとおり、まず一の桁「3」について、173、073、163、063、143、・・・と、「3」の組合せがすべて終わった後、一の桁「2」について172、072、162、062・・・と抽選順位が決まり、受付番号と一致する番号について、当選番号（及び補欠番号）と順位が決定されます。

**<抽選結果（順位表）>**

抽選順位	当選順位	当選番号
①	—	<del>173</del> （該当者なし）
②	1	073
③	—	<del>163</del> （該当者なし）
④	2	063
⑤	3	143
⑥	4	043
⑦	—	<del>193</del> （該当者なし）
⑧	5	093
⑨	6	123
⑩	7	023
⑪	8	103
⑫	9	003
⑬	10	153

抽選順位	補欠順位	当選番号
⑭	1	053
⑮	2	113
⑯	3	013
⑰	—	<del>183</del> （該当者なし）
⑱	4	083
⑲	5	133
⑳	6	033
㉑	—	<del>172</del> （該当者なし）
㉒	7	072
㉓	—	<del>162</del> （該当者なし）
㉔	8	062
㉕	9	142
㉖	10	042